

TOSHIBA 東芝照明器具取扱説明書

- お客様へ お買い上げありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。
本書は必ず保管してください。
- 工事店様へ この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

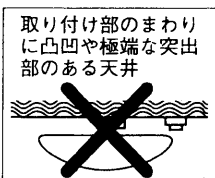
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

警告

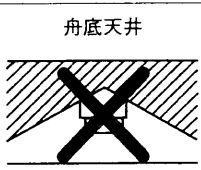
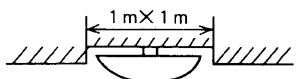
- 次のような、場所には取り付けないでください。

この器具は天井取付専用です。

指定以外の場所には器具が取り付けられない場合や、取り付けられた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。



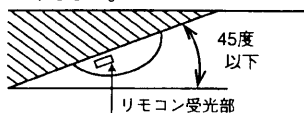
器具の取り付けには、配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。



45度を超える傾斜天井

傾斜天井角度
45度
以上

※45度以下の傾斜天井に取り付ける場合は、下記の条件をお守りください。



- 傾斜方向の下側にリモコン受光部側がくるように取り付けてください。
- 引掛シーリングに器具の荷重が加わらないように本体を木ねじで必ず固定してください。



- 次のような、配線器具には取り付けないでください。

火災・感電・落下してけがの原因となります。

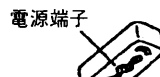
次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼してください。(※素人工事は法律で禁じられています。)



・破損しているもの



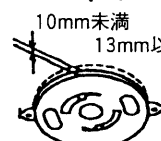
・グラグラしたり、取り付けが不十分なもの



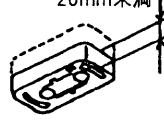
電源端子
露出タイプ
23mm以上
20mm未満



・ケースウエイに取付いているもの



10mm未満
13mm以上



角形・丸形引掛シーリング

・シーリングハンガー 埋込・露出引掛シーリング
付きのもの

・配線器具が埋まり込んでいるもの

※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。

- 器具を分解や改造したり、部品を変更しないでください。



改造

火災・感電・落下してけがの原因となります。

- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。



可燃物

火災の原因となります。

注意

- 屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。



湿気禁止

この器具は非防水です。
火災・感電の原因となります。

- 温度の高い場所では使用しないでください。

暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。
この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。



高温禁止

- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。



接触禁止

高温になっています。
やけどの原因となります。

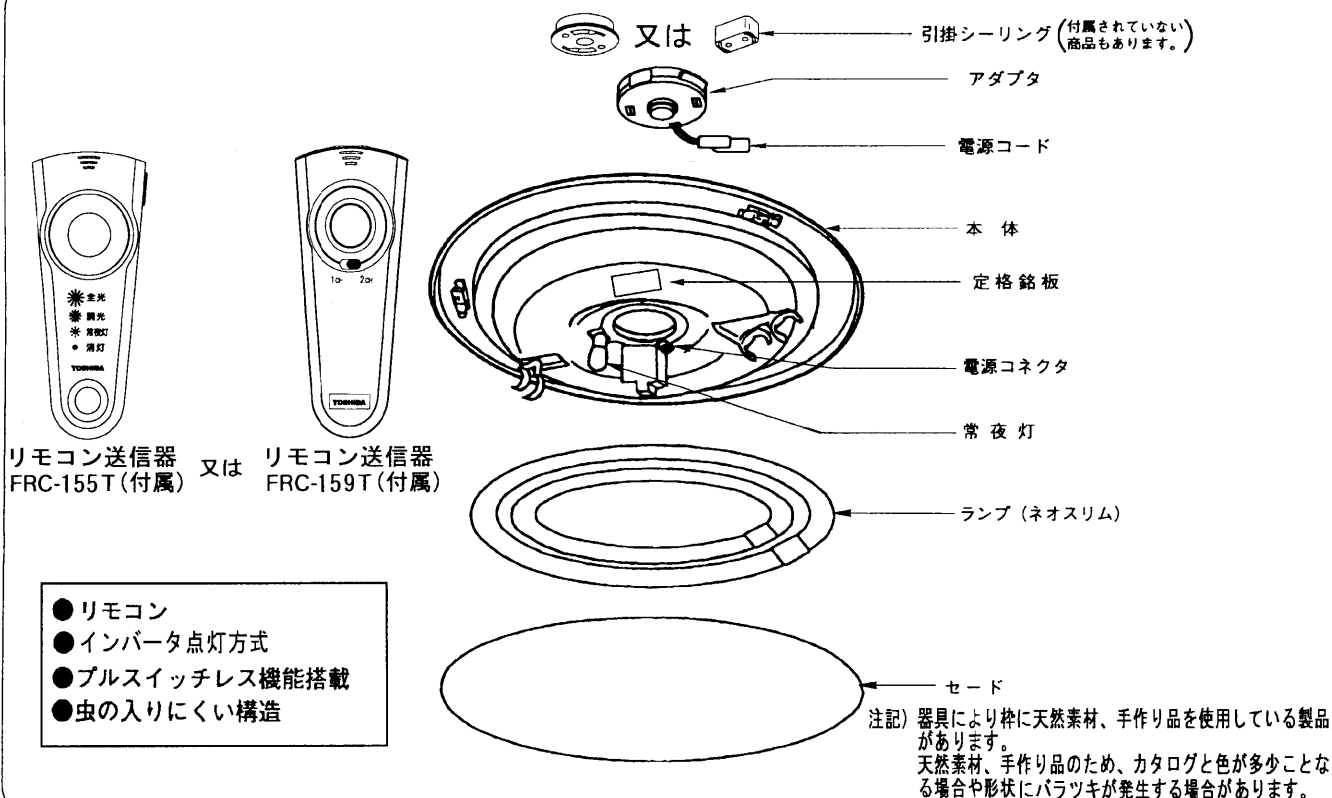
- 交流100V以外の電圧で使用しないでください。
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
- 調光器が取り付けられている配線で使用しないでください。
火災の原因となります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。

- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

⚠ 異常が生じた場合は、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)、東芝家電修理ご相談センター(保証書に記載)にご相談ください。

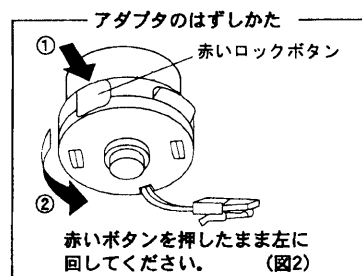
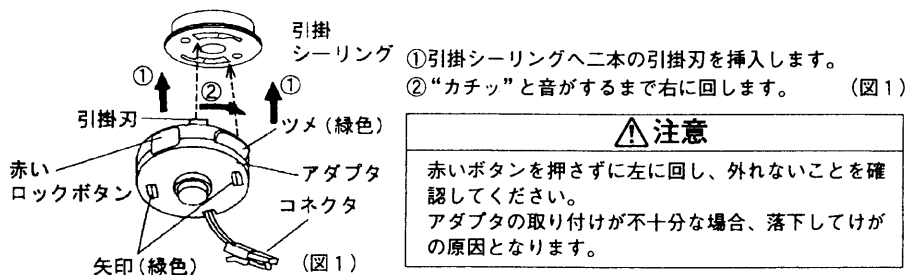
■各部のなまえ

・この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。



■器具の取り付けかた

1. 天井の引掛シーリングにアダプタを取り付けてください。

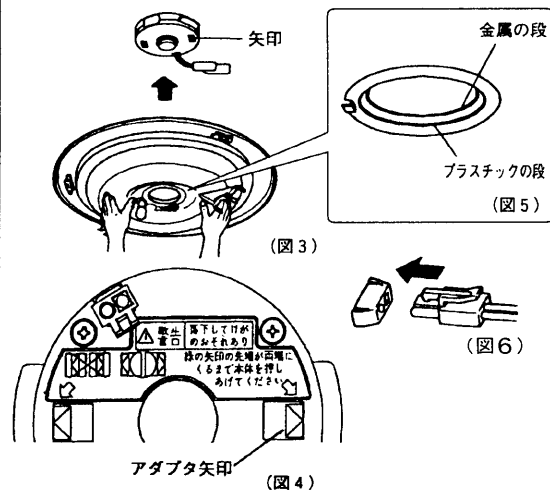


2. 本体を取り付けてください。



警告

取り付けが不完全ですと、落下してけがの原因となります。



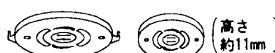
注) 器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。(天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。)

① 本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置をあわせて本体をまっすぐに押し上げます。(図3)

② 本体固定時、アダプタ矢印の先端が両端にくるまで押し上げて下さい。(図4)

IIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングに適應できます。

埋込引掛シーリングの場合



1 段回押し上げてアダプタのツメを図5の金属の段に取り付けてください。(図5)

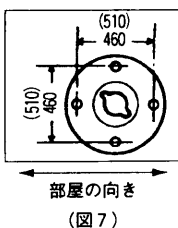
角形・丸形引掛シーリングの場合



高さ約22mm 高さ約22mm
2 段回押し上げてアダプタのツメを図5のプラスチックの段に取り付けてください。(図5)

③ アダプタコードのコネクタを電源コネクタに差し込みます。
抜けないことを確認して下さい。(図6)

本体を取り付けた際、図7のノックアウトを部屋の向きと平行にあわせてください。本体を取り付けた後、本体が安定しないときは図7のノックアウトを利用して本ネジで止めてください。



(図7)

※()内は114W用の場合

本体のはずしかた



(図8)

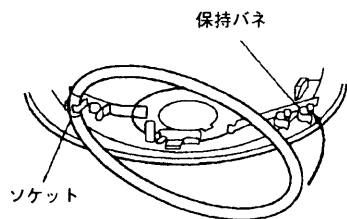


(図9)

アダプタコードのコネクタを電源コネクタからはずします。コネクタをつまみながら引き抜いてください。(図8) 両手で本体を押しながら中央にある赤いボタンを押してください。(図9)

3. ランプを取り付けてください。

注) 包装時に装着済み



(図10)

(i) 本体に径の大きいランプから順に取り付けます。(図10)

①ソケット、②保持バネの順でランプを本体に取り付けます。

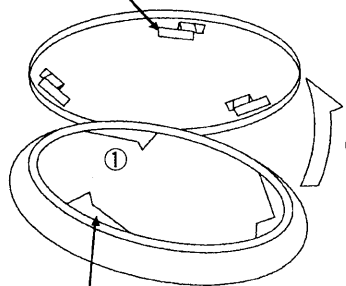
ランプのはずしかた
ランプ径の小さいランプから外してください。

△ 注意

ランプをソケットに確実に取り付けてください。取り付けが不十分ですと、点灯しなかったり火災の原因となります。

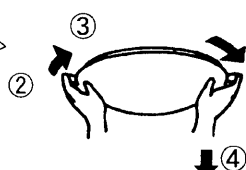
4. セードを取り付けてください。

セード取付金具



セード張出部分

(図11)



(図12)

- ①セードの張出部分をセード取付金具とセード取付金具の間にセットしてください。(図11)
- ②セードを持ち上げます。(図11)
- ③“カチッ”と音がするまで、セードを右に回してください。(図12)
- ④セードを軽く引っぱって外れないことを確認してください。(図12)

△ 警告

セードを本体に確実に取り付けてください。全てのセード取付金具にセードが取り付けいたことを確認してください。取付が不十分ですと、落下してけがの原因となります。

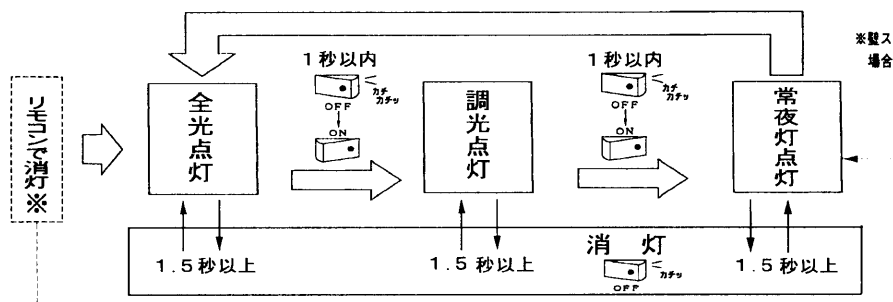
セードのはずしかた
“カチッ”と音がするまで、セードを左に回してください。

■ 器具の使いかた

壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

プルスイッチレス

機能・・・この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。器具本体内部のマイコンが、1秒以内の電源遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。



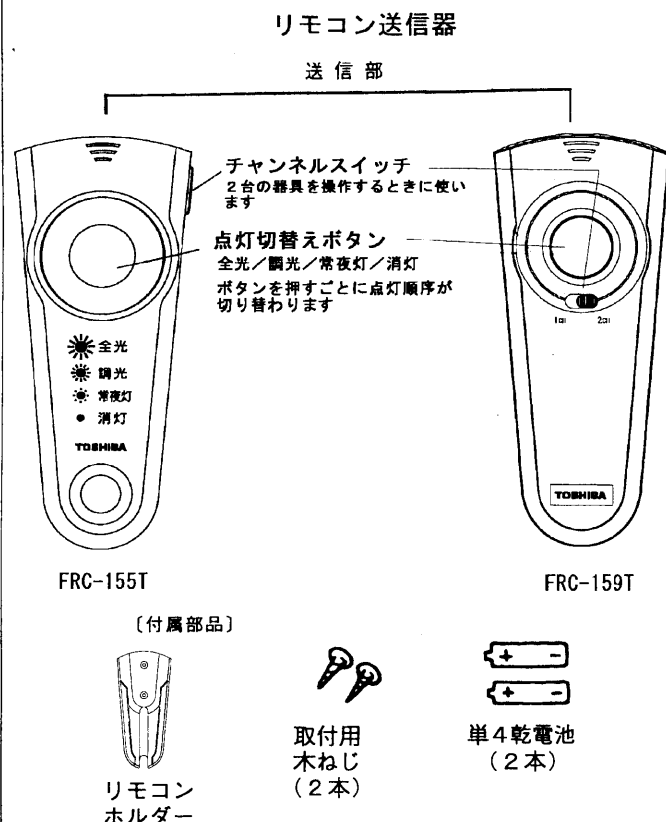
※壁スイッチをOFFする前にリモコン操作で器具を消灯状態にしていた場合は、壁スイッチを再びONすると常夜灯点灯になります。(→)

(ご注意)

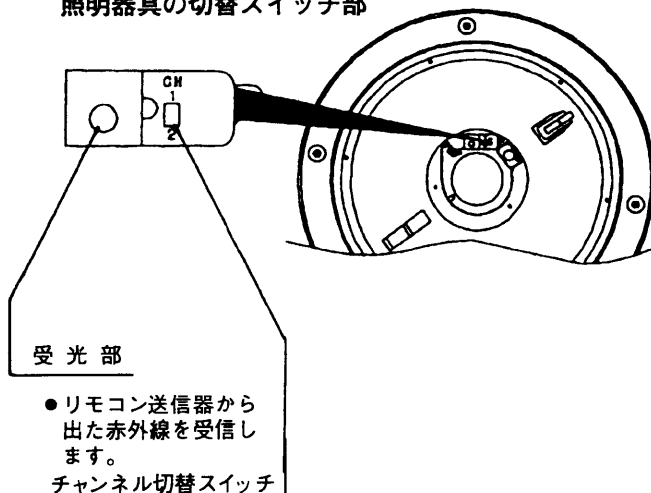
1個の壁スイッチで2台以上のプルスイッチレス機能搭載器具を操作することは避けください。同時に切り替わらない場合があります。

■器具の使いかた

各部のなまえ



照明器具の切替スイッチ部



- 当リモコン照明器具は2チャンネル方式です。このチャンネル1、2を送信器と同じチャンネルにしてご使用ください。

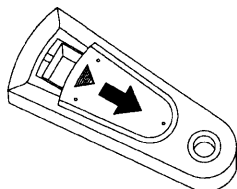
ご注意

- 万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクタを一度外し、取り付け直してください。)

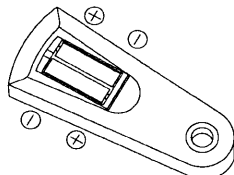
※このチャンネルは、出荷時チャンネル1に設定してあります。

1. リモコン送信器に乾電池を入れてください。

- ①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。



- ②単4乾電池を表示に合わせて極性+をまちがえないように入れてカバーを閉めてください。



- リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回使用の場合約半年間がめやすです。

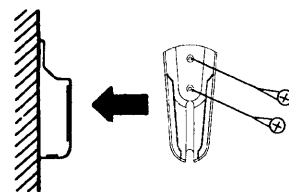
ご注意

- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

2. リモコンホルダーのご使用方法

- リモコン送信器の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。壁面に取り付けてご利用ください。

付属の木ネジでリモコンホルダーを確実に固定してください。

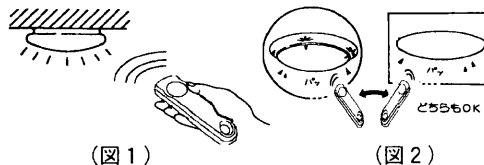


ご注意

- リモコンを操作する際は、ホルダーから送信器を外して器具に向けてください。

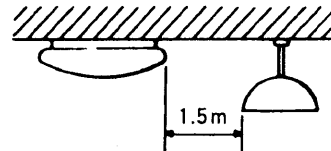
リモコン送信機による照明器具の点滅操作

- リモコン送信器を照明器具に向けて、点灯切替えボタンを軽く押してください。照明器具内のブザーが“ピッ”となってボタンを押すごとに点灯順序が切り替わります。(図1)
- 2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信機により行えます。それぞれの照明器具側のチャンネルをチャンネル1・チャンネル2と個別に設定した場合、リモコン送信機のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみが動作します。(図2)

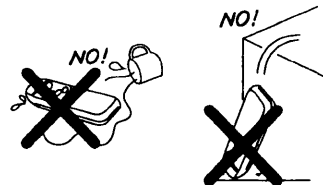


リモコン使用上のお願い

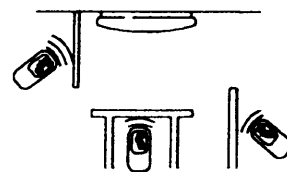
- 付属のリモコン送信機は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコンは壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信機で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1Wの電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用はインバーター器具から1.5m以上離して取り付けてください。



- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。



- リモコン送信機の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。



- リモコン送信機の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に作動しないことがあります。
- 広い部屋でご使用する場合、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際は器具に近づいてご使用ください。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際力ベコン機能が働き全光点灯などになることがあります。

■ランプ寿命について

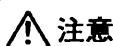
- 一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し、常夜灯が点灯します。残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切つてすみやかに、すべてのランプを交換してください。

■故障ではありません

- 冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
- 電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願いいたします。

■お手入れのしかた ・常に明るく安全に正しく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。

- 器具の汚れは、やわらかい布を中性洗剤に浸しよくしぼったものでふきとってください。
(お願い) ■ ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質、破損の原因となります。
- 器具により天然素材の和紙を使用している製品があります。シワ・タルミがある場合はそのままご使用ください。和紙がへこんだ場合は、その部分に霧状の水をかけてください。乾燥することによって復元します。



注意

- ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

■ ランプの交換

● ランプの端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。
ランプ交換の際は東芝蛍光ランプ・ネオスリムをご指定ください。

■ 仕 様

器 具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力（器具）	待機電力	適 合 ラ ン プ		
76W形	A C 100 V	50/60Hz共用	69W	約 1 W	FHC20	FHC34	常夜灯 100V5W
86W形	A C 100 V	50/60Hz共用	79W	約 1 W	FHC27	FHC34	常夜灯 100V5W
114W形	A C 100 V	50/60Hz共用	95W	約 1 W	FHC20	FHC27	FHC34 常夜灯 100V5W

器具形名	
本体形名	

■ お客様メモ

購入年月日 年 月 日

東芝ホームライティング株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田一丁目8番13号（東芝秋葉原ビル1階）

リモコンネオスリムV (0031124) D

<生産完了 2008年10月03日>
FVH91280R (7 / 7)